

●第7回木の建築賞・メンバーズチョイス賞—ティンバライズ建築展 都市木造の フロンティア及びTeam Timberize の活動

・講評

ティンバライズ建築展は、既成概念にとらわれずに自由な発想で、都市に木造建築および木材を持ち込んだらどうい世界になるのかを提案している。一見すると到底実現不可能にみえる木造建築が、これからの努力次第で、もしかしたら実現するかもしれないとの夢と期待をティンバライズ建築展が抱かせてくれた気がする。

東京青山のスパイラルガーデンで開催された建築展には、木造建築の関係者だけでなく一般の人々も多数訪れていた。都市と木造建築および木材とが結びつきうること、新しい木造の世界があることを、これまで木造建築および木材について考える機会が少なかった人々に示した意義は大きい。

東京以外にも、静岡と名古屋でティンバライズ建築展が開催された。全国を巡回しての開催ということで、模型の移送や展示、展示会終了後の模型の保管など、運営には想像をはるかに超える苦勞と多額の費用が必要だったと思われる。このような活動を、継続的かつ全国的に展開することに情熱を燃やしている関係者に心から敬意を表したい。

(杉本健一／選考委員)



写真／「Timberize建築展」都市木造のフロンティア（青山スパイラルより）

・名称：ティンバライズ建築展 都市木造のフロンティア及びTeam Timberizeの活動（活動）
・応募責任者：応募責任者：佐藤孝浩／桜設計集団

人の手によって加工された材木や製材は「Timber」と呼ばれ、この「Timber」から考え出された造語が「Timberize」です。材料や使い方の工夫をすれば、これまで木を使うことをあきらめてしまつたものにも、木を使うことができるようになります。2000年の法改正により、木造の耐火建築物が建築可能になりました。現在、木構造の解析技術や耐火部材の進歩、素材の革新により都市部における大規模木造建築の建設が現実味を帯びてきています。スパイラルガーデンで行われた展示会では、表参道を舞台に、都市の仮想木造プロジェクトを提案しました。今までに無い、都市における木造建築のドローイングや模型、映像を通して、都市の新しい木造建築「都市木造」とはどのようなものか、その可能性と実現性に迫りました。私たちTeam Timberizeは、伝統や慣習にとらわれることなく木・木造の新しい可能性を模索し、社会に広く提案したいと考えています。

●活動履歴

- 2008年12月 Team Timberize発足
- 2009年12月 「都市の木造建築展」東京大学駒場リサーチキャンパス
- 「ティンバライズ建築展」都市木造の

- フロンティア」
- 2010年5月 青山スパイラルガーデン
- 2010年7月 静岡展（静岡科学館、く・る）
- 2010年10月 名古屋展（丸美産業本社ビル）
- 2011年7月 札幌展（北海道工業大学図書館）開催予定
- 2010年8月 「ティンバライズ」喫茶展（渋谷 珈琲&ギャラリーウィリアムモリス）

